

第二卷

三宅尚齋 附妻女

僧鐵眼

米屋与衣衛門

内藤平左衛門

寺外玄溪

大石氏僕

小野与秀和妻 附秀和孫女

尼破鏡 附由事

遊女大橋

遊女東尼

石野權兵衛 同市兵衛

隱士石卧

賣茶翁

江村專齋 附到齋

北村集所

萬生永濟

岡周防守

青木長廣

僧別首座

僧圓空 附證後

中倉忠宣 附山中寺人

第三卷

隱士長流

僧契冲 附介半松庵  
海和玉冲  
冲田忠齋

新田春滿 附姓在滿  
門人加繁真淵

桃山隱者 附与金齋乞馬

佐田儀兵衛

手車翁

山科農丈 附伴中之衣

金蘭齋

加嶋宗叔

支展狂女

長崎餓人

相者龍袋

森金去

僧佛行坊

僧涌蓮

右田見良 附僧見良

僧日初

第四卷

折澤洪園

求大雅僧

多鳩堵庵

北村依庵

土肥二三

池大雅 附其子

附村琴新 附其子

高橋圖南

久彌守景

賣澤長孝

僧似雲

矢部正子

室町宗甫

近江狂僧

僧惠潭

祇園梶子 附百食子

惟然坊

表太

第五卷

釜河天民 附子授亨安

戶田旭山

僧文竹

井上通子

北山友松子

隱家茂睦

安藤年山 附朴兼

有馬凉及











老して不徳の實と云ふるも、先生は、決して曰き、  
小者の、  
寸は不能、  
作らば、  
井、  
情、  
ハ、  
其、  
長、  
傑、  
年、  
併、

京、  
殺、  
病、  
改、  
常、  
名、  
年、  
外、  
お、  
と、  
し、  
皆、



業勤——性高謙——其身の及ぶる  
 人の善いことあり、但茶室道と思ふの心、  
 己愛人濟世とてあり、其の心、  
 多く平坂名に記し、通信より教ふこと、  
 及後丁、家道養生、ゆきれば、  
 州やとのあり、その、鄙事紀つた、  
 西勢に、その、近世法儒、唯自己の、  
 亦して、梨栗と費す、おちる、  
 一、はと、大史、その、  
 法蘭西、その、  
 政通、日光の、  
 巡、その、

巡、その、  
 唯、その、  
 遇、その、  
 某、その、  
 月、その、  
 八月、その、  
 其、その、  
 其、その、  
 其、その、  
 其、その、

茶、其、道、極、精、造、微、愛、物、為